



開場を待つ多くの市民

十月七日(金)、中津市で初めての室内演奏会となる「第四音楽隊巡回演奏会」が中津市第四師団主催の開催を支援しました。

会場となった中津文化会館には学校帰りの高校生も多く訪れ、開演前にステージで実施されたブレコンサートは生徒達の活気に満ちた笑顔や拍手に包まれていました。

### 中津市で初めての室内演奏会 陸自第4音楽隊巡回演奏会を支援

演奏会は隊長 入江和也二等陸尉指揮による軽快なマチに始まり、第一部終盤には、黒田官兵衛ゆかりの地である中津にちなんで、昨年のNHK大河ドラマの主題歌である「軍師官兵衛」が演奏され、会場は大きな拍手に包まれました。

第二部は、開始から二曲続けて中津北高校吹奏楽部と合同演奏が実施されました。演奏後の学生へのインタビューでは、部長の藤岡優香さんが「隊員の、音色の格の違いにビックリしたけど、一緒に演奏できて本当に楽しかった」と語りました。

後半には、地域にちなんで演歌歌手 川中美幸さんの代表曲である「豊後水道」を隊員が熱唱、続いて演奏された「情熱大陸」では、五名のパカッションがアツプテンポを刻む中、トロンボーンやトランペットのソロが入る等の多彩な見せ場を披露して会場を沸かせました。

中津北高校吹奏楽部との合同演奏



中津北高校吹奏楽部との合同演奏



自衛隊大分地方協力本部長  
一等陸佐  
渡辺 辰悟

# 大分地本だより

大分地本だより読者の皆様におかれましては、平成二十九年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、自衛隊大分地方協力本部の隊員募集、退職、自衛官の就職の援助、広報、国民保護及び災害対応などの活動に対して多くのご協力、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

また、四月の熊本・大分地震に際しましては、県民の命・生活を第一に活動する災害派遣部隊に対する皆様の暖かい声援が、個性に任せて任務を遂行する隊員達の活力となりました。

三月に施行された平和安全法制は、不安定を増す国際情勢のうねりの中にあって、日本国が、自国に対する脅威を未然に防ぎ、領土・領空・領海、そして国民の生命と財産を守るとともに、国際社会の平和と安定に積極的に貢献するため、自衛隊は今、新たな法的根拠を得て、陸海空自衛隊の新たな体制を構築しつつ、日々厳しい訓練や警戒監視任務を遂行しています。

大分地方協力本部は、皆様と自衛隊の架け橋として、国に対してさらに多くの皆様と理解いただけるよう、人と人との繋がりを大切に各種業務を進めてまいりますので、引き続きのご支援、ご協力をよりよろしくお願い申し上げます。

卒業者の自衛隊への入隊実績に対する、十一月九日(水) 大分高等学校小山康直校長に大分地本長が伝達、贈呈しました。

贈呈式には、大分地本にも同席して花を添え、贈呈終了後は懐かしい昔話で盛り上がる和やかな式となりました。

一等空曹(写真右から二人目)は、大分高校を担当する広報官であり、母

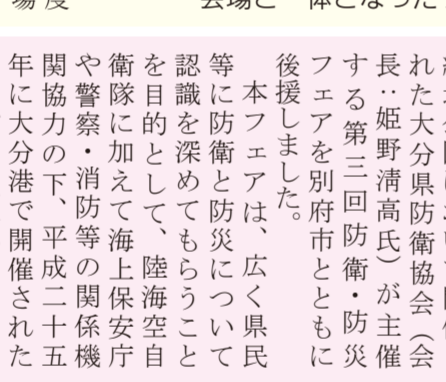
大分高等学校に西部方面総監より感謝状  
同校卒業生の地本部長四名が同席

自衛隊大分地方協力本部は、七月二十日(土)及び三十一日(日)、別府国際公園港及び上江ヶ浜緑地公園において開催された大分県防衛協会(会長・姫野清高氏)が主催する第三回防衛・防災フェアを別府市とともに後援しました。

本フェアは、広く県民等に防衛と防災について認識を深めてもらうことを目的として、陸海空自衛隊に加え海上保安庁や警察、消防等の関係機関協力の下、平成二十五年に大分港で開催されたのが始まりです。

今回は、海上自衛隊護衛艦「じんごう」(艦長 衛藤 健一)が来港、その他佐世保地方総監部募集支援係(佐世保) 航空自衛隊第七高射隊(築城)、陸上自衛隊西部方面輸送隊(健軍)、第四後方支援連隊(福岡)

会場と一体となったフィナーレ「花は咲く」の合演



会場と一体となったフィナーレ「花は咲く」の合演

北高校吹奏楽部員が、再度ステージに上がり、来場者全員で「花は咲く」を大合唱して幕を閉じました。

会場では感動した涙を流す人もおられ、会場を後にされる人の波の中からは「是非また中津の演奏会を開催して欲しい」との声も聞かれました。

自衛隊大分地方協力本部は、七月二十日(土)及び三十一日(日)、別府国際公園港及び上江ヶ浜緑地公園において開催された大分県防衛協会(会長・姫野清高氏)が主催する第三回防衛・防災フェアを別府市とともに後援しました。

本フェアは、広く県民等に防衛と防災について認識を深めてもらうことを目的として、陸海空自衛隊に加え海上保安庁や警察、消防等の関係機関協力の下、平成二十五年に大分港で開催されたのが始まりです。

今回は、海上自衛隊護衛艦「じんごう」(艦長 衛藤 健一)が来港、その他佐世保地方総監部募集支援係(佐世保) 航空自衛隊第七高射隊(築城)、陸上自衛隊西部方面輸送隊(健軍)、第四後方支援連隊(福岡)

事務所の近くには竹田高校と竹田南高校があり、以前の事務所にはなかった若者たちの賑わいがあります。私たちは今後も変わらずに、募集相談員や家族会の方々の連携を密にし、またイベントを通じて育てる各種広報活動に努めてまいります。どうぞ、お気軽にお立ち寄り下さい。

八月一日付で第四十一普通科連隊(別府駐)から着任、日々、退職予定自衛官の再就職援助に努めています。昭和五十八年に入隊し、第四十一普通科連隊で小銃科として自衛隊デビュー。平成五年に第十普通科連隊(東千歳駐)に転動して六年間、北の大地を駆け巡った。またこの間、銃剣道の選手として全日本の大会にも出場。その後、再び別府駐屯地に赴任。平成十九年に幹部に昇任。平成二十七年には南スーダン国際平和協力維持活動に参加。広報幹部として半年間にわたり勤務した。

この時は、時差十二時間の壁等により、しばしば徹夜での情報発信に苦しみ、興味は晩飯と「金をかけない釣り」だそうだが、金をかけてないだけに、昨年は一匹も釣れなかったらしい。

家族は、妻と娘・息子の四人。なんと奥さんは高校の同級生で、高一から交際しており、二十三歳で結婚。現在に至っている。

「魚は釣れないが、妻の一本釣りは、お見事な限りである。大分地本の松方私塾は、夏でもお湯割りの芋焼酎を肴も妻と語り合っているだろう。」

訓練等の任務に従事した。また、船乗りながら、統幕 海幕、総監部、各司令部等特に、**広島地本島地幕業務に、再度の挑戦を、熱意と信念を持ち取組んでいる。**

読者の方で、自衛官に興味ある知人あれば、お知らせ下さい。直ちに、説明に伺います!

現在は、横須賀に家族を残し、単身赴任中であり、全身全霊で募集業務に邁進可能な状態!であり、休日、イベント、採用試験と複雑多忙な日々を過ごしている。

近感じて戴くとともに、認識を新たにされた様子が伺えて、意義ある行事となりました。

九月十七日、海上自衛隊佐伯六ヶ所において、一般曹候補生一次試験及び自衛官候補生男子の採用試験を実施しました。

続く二十二日に航空学生、翌二十三日には自衛官候補生女子の採用試験を県総合社会福祉会館で行いました。十月十五日には、大分商工会議所において防衛医科大学看護学科学生試験、二十九日・三十日の両日には防衛医科大学校予備校大分校で実施しました。また十一月五日・六日の両日、別府豊原荘において防衛大学校学生試験を実施しました。

この時は、時差十二時間の壁等により、しばしば徹夜での情報発信に苦しみ、興味は晩飯と「金をかけない釣り」だそうだが、金をかけてないだけに、昨年は一匹も釣れなかったらしい。

家族は、妻と娘・息子の四人。なんと奥さんは高校の同級生で、高一から交際しており、二十三歳で結婚。現在に至っている。

「魚は釣れないが、妻の一本釣りは、お見事な限りである。大分地本の松方私塾は、夏でもお湯割りの芋焼酎を肴も妻と語り合っているだろう。」

この時は、時差十二時間の壁等により、しばしば徹夜での情報発信に苦しみ、興味は晩飯と「金をかけない釣り」だそうだが、金をかけてないだけに、昨年は一匹も釣れなかったらしい。

家族は、妻と娘・息子の四人。なんと奥さんは高校の同級生で、高一から交際しており、二十三歳で結婚。現在に至っている。

「魚は釣れないが、妻の一本釣りは、お見事な限りである。大分地本の松方私塾は、夏でもお湯割りの芋焼酎を肴も妻と語り合っているだろう。」

いずれの会場においても、最後まで諦めず真剣に取り組む受験生の姿が印象に残りました。彼ら一人でも多くが入隊してくれる事を心より願っています。

九月十七日、海上自衛隊佐伯六ヶ所において、一般曹候補生一次試験及び自衛官候補生男子の採用試験を実施しました。

続く二十二日に航空学生、翌二十三日には自衛官候補生女子の採用試験を県総合社会福祉会館で行いました。十月十五日には、大分商工会議所において防衛医科大学看護学科学生試験、二十九日・三十日の両日には防衛医科大学校予備校大分校で実施しました。また十一月五日・六日の両日、別府豊原荘において防衛大学校学生試験を実施しました。

この時は、時差十二時間の壁等により、しばしば徹夜での情報発信に苦しみ、興味は晩飯と「金をかけない釣り」だそうだが、金をかけてないだけに、昨年は一匹も釣れなかったらしい。

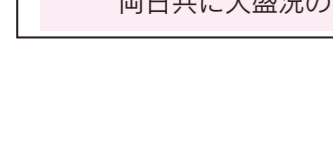
家族は、妻と娘・息子の四人。なんと奥さんは高校の同級生で、高一から交際しており、二十三歳で結婚。現在に至っている。

「魚は釣れないが、妻の一本釣りは、お見事な限りである。大分地本の松方私塾は、夏でもお湯割りの芋焼酎を肴も妻と語り合っているだろう。」

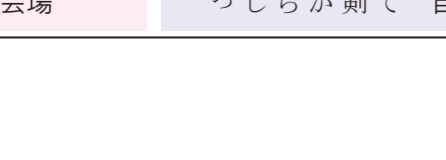
この時は、時差十二時間の壁等により、しばしば徹夜での情報発信に苦しみ、興味は晩飯と「金をかけない釣り」だそうだが、金をかけてないだけに、昨年は一匹も釣れなかったらしい。

家族は、妻と娘・息子の四人。なんと奥さんは高校の同級生で、高一から交際しており、二十三歳で結婚。現在に至っている。

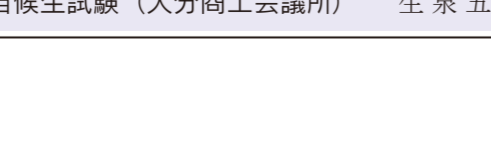
「魚は釣れないが、妻の一本釣りは、お見事な限りである。大分地本の松方私塾は、夏でもお湯割りの芋焼酎を肴も妻と語り合っているだろう。」



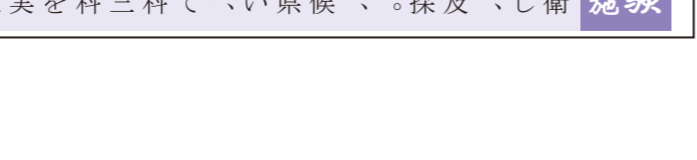
両日共に大盛況の会場



自候生試験 (大分商工会議所)



自候生試験 (大分商工会議所)



自候生試験 (大分商工会議所)

# 自衛官募集中!!



7.25 「南大分を守る」活動支援 (南大分スポーツパーク)



8.4 募集対象者部隊研修支援 (空自 築城基地)



8.7 SH-60ヘリコプター体験搭乗 (海自 大村航空基地)



9.23 大分県議会防衛議員連盟への防衛白書説明 (大分県庁)



11.16 第43掃海隊出港支援 (別府国際観光港)



10.2 第3掃海隊入港歓迎式 (別府国際観光港)

平成28年下半年期

## 広報フォトアルバム



河原 紗希さん (大分市在住 東京都出身)

以前は「九州一古い」とか「なんかカビ臭そう」とか、噂かかれていた旧事務所から一新、城下町の風情漂う竹田町に移転して二年が過ぎました。

竹田市と豊後大野市を担当し、主に自衛官等の募集と各種広報活動を行っているのが我々竹田地域事務所であり、木津義行事務所長以下四名で日々業務に邁進しています。



永藤 木津 佐藤 大石

「さいつて行きよー!」 「がんばりよー」と大分自由日付で海自対潜評価隊(横須賀基地) 自分評部長から着任し、日々、自衛官募集に奮闘・努力し、格闘中である。

本人は、別府市出身で、浜脇小・中、高校は別府鶴見丘、同級 同窓生の声援を受け、ぜひお待ちしております、とのこと。

江田島卒業後、世界一周遠洋航海を経て潜水艦乗員となり潜水艦、護衛艦、音響測定艦に乗り組み「RIMPAC」等海外での米国の共同勤務した。

八月一日付で第四十一普通科連隊(別府駐)から着任、日々、退職予定自衛官の再就職援助に努めています。昭和五十八年に入隊し、第四十一普通科連隊で小銃科として自衛隊デビュー。平成五年に第十普通科連隊(東千歳駐)に転動して六年間、北の大地を駆け巡った。またこの間、銃剣道の選手として全日本の大会にも出場。その後、再び別府駐屯地に赴任。平成十九年に幹部に昇任。平成二十七年には南スーダン国際平和協力維持活動に参加。広報幹部として半年間にわたり勤務した。

この時は、時差十二時間の壁等により、しばしば徹夜での情報発信に苦しみ、興味は晩飯と「金をかけない釣り」だそうだが、金をかけてないだけに、昨年は一匹も釣れなかったらしい。

家族は、妻と娘・息子の四人。なんと奥さんは高校の同級生で、高一から交際しており、二十三歳で結婚。現在に至っている。

「魚は釣れないが、妻の一本釣りは、お見事な限りである。大分地本の松方私塾は、夏でもお湯割りの芋焼酎を肴も妻と語り合っているだろう。」

訓練等の任務に従事した。また、船乗りながら、統幕 海幕、総監部、各司令部等特に、**広島地本島地幕業務に、再度の挑戦を、熱意と信念を持ち取組んでいる。**

読者の方で、自衛官に興味ある知人あれば、お知らせ下さい。直ちに、説明に伺います!

現在は、横須賀に家族を残し、単身赴任中であり、全身全霊で募集業務に邁進可能な状態!であり、休日、イベント、採用試験と複雑多忙な日々を過ごしている。

この時は、時差十二時間の壁等により、しばしば徹夜での情報発信に苦しみ、興味は晩飯と「金をかけない釣り」だそうだが、金をかけてないだけに、昨年は一匹も釣れなかったらしい。

家族は、妻と娘・息子の四人。なんと奥さんは高校の同級生で、高一から交際しており、二十三歳で結婚。現在に至っている。

「魚は釣れないが、妻の一本釣りは、お見事な限りである。大分地本の松方私塾は、夏でもお湯割りの芋焼酎を肴も妻と語り合っているだろう。」

この時は、時差十二時間の壁等により、しばしば徹夜での情報発信に苦しみ、興味は晩飯と「金をかけない釣り」だそうだが、金をかけてないだけに、昨年は一匹も釣れなかったらしい。

家族は、妻と娘・息子の四人。なんと奥さんは高校の同級生で、高一から交際しており、二十三歳で結婚。現在に至っている。

「魚は釣れないが、妻の一本釣りは、お見事な限りである。大分地本の松方私塾は、夏でもお湯割りの芋焼酎を肴も妻と語り合っているだろう。」

事務所の近くには竹田高校と竹田南高校があり、以前の事務所にはなかった若者たちの賑わいがあります。私たちは今後も変わらずに、募集相談員や家族会の方々の連携を密にし、またイベントを通じて育てる各種広報活動に努めてまいります。どうぞ、お気軽にお立ち寄り下さい。

八月一日付で第四十一普通科連隊(別府駐)から着任、日々、退職予定自衛官の再就職援助に努めています。昭和五十八年に入隊し、第四十一普通科連隊で小銃科として自衛隊デビュー。平成五年に第十普通科連隊(東千歳駐)に転動して六年間、北の大地を駆け巡った。またこの間、銃剣道の選手として全日本の大会にも出場。その後、再び別府駐屯地に赴任。平成十九年に幹部に昇任。平成二十七年には南スーダン国際平和協力維持活動に参加。広報幹部として半年間にわたり勤務した。

この時は、時差十二時間の壁等により、しばしば徹夜での情報発信に苦しみ、興味は晩飯と「金をかけない釣り」だそうだが、金をかけてないだけに、昨年は一匹も釣れなかったらしい。

家族は、妻と娘・息子の四人。なんと奥さんは高校の同級生で、高一から交際しており、二十三歳で結婚。現在に至っている。

「魚は釣れないが、妻の一本釣りは、お見事な限りである。大分地本の松方私塾は、夏でもお湯割りの芋焼酎を肴も妻と語り合っているだろう。」



部員紹介



部員紹介



部員紹介

